

# 高い山運開き&山菜まつり

## 地域の協力あってこそその活性化

【尾花沢市細野地区】5月に開催される地区の山開き、山菜採りイベント

### 地域資源を活用した地域づくり

尾花沢市南東に位置する細野地区では「清流と山菜の里 ほその村」として、地域が一体となって地域づくりに取り組んでいる。

「ほその村」では、話し合いの場づくりや地域資源を活用し、雇用創出等を目標としたそば栽培やそばまつり、登山ツアーや山菜採り、メールサツプ採取、農家レストランなど地域の活性化に向けて幅広く活動している。

今回は、会長を務めている五十嵐幸一さんにお話を伺った。

### 活動開始のきっかけ

「ほその村」の活動は、「若者が集落から出ていき将来的に集落がなくなるかもしれない」という危機感がきっかけで、皆で知恵を出し合い行動を起こすことが重要と考え、平成18年から3年間、地域の宝を見直す話し合いを行った。先進地域への視察や地域おこしの講師から助言等を得ながら、次の世代が自信をもって住める集落を目指した地域づくりを行うため、平成22年に「清流と山菜の里 ほその村」を設立した。

### 地域の協力があつたからこそ

少人数では13年間も活動を続けられなかった、地域全体の協力があつたからこそ続けられたと語る五十嵐さん。集落の全戸が「ほその村」に加入し、毎月活動内容のお知らせを配布するなど、協力を大切にしている。

最近では新たに移住者が増え、農家民宿やカフェができた。取組みが実り昔と比べても人口減少は食い止めることができているとのこと。

継続的な取組み内容が評価され、令和4年度「地域づくり表彰」にて、最高賞である「国土交通大臣賞」を受賞した。

## 現在そしてこれから

現在、特に力を入れているのは、春の山菜採り、秋のそばまつりだ。山を熟知した地区民が案内する春の山菜採りや、地元で栽培したそば粉を使った秋のそばまつりには、地域の内外から多くの人が訪れている。また、近年はメープルサップと地元産ホップを使ったクラフトビールの販売も行っている。

さらに、今後は令和4年に開園した観光わらび園、やまがた百名山に指定されている近隣の大平山おおひらやまと御堂森登山おんどうもりでの交流にも力を入れたいとのこと。訪れてくれる人達の声を大切にしながら、「ほその村」を守って次の世代につなげていきたいと語ってくれた。



↑地域のイベントは横断幕を掲げて住民に周知



↑集会所兼農家レストランとして地域の蔵をリメイク

## これまでの取組



↑2月メープルサップ採取体験  
県内外から多くの親子が参加し、採取や雪遊びを行う



↑4月山菜採りツアー  
自然を満喫しながら山菜の王様「あいこ」を収穫する体験



↑11月そば祭り  
「ほその村」活動当初から行っている。そばオーナー制度も実施中



↑農家レストラン「蔵」  
地域の女性方による旬の食材とそばの田舎御膳が楽しめる



↑5～6月観光わらび園  
耕作が困難な農地を有効活用し、新たにわらびを栽培している



↑5～10月御堂森への登山  
年数回行っており、近年の登山ブームもあり人気のイベント



ほその村会長 五十嵐幸一さん

### メープルシロップの作り方

毎年2月頃、イタヤカエデからメープルサップ（樹液）を採り、その後煮詰めることでメープルシロップができる。煮る前は3度程の糖度は、煮詰めることで60度程になり、琥珀色に変わる。



〇五十嵐さんはふるさとの水と土を守り繋いでいくために県が委嘱している農村環境保全指導員としても活動しています。

写真提供：尾花沢市、尾花沢市観光物産協会